

第3学年

<p>教科</p>	<p>・児童の課題○重点目標</p>	<p>具体的な授業※ なお、各教科において、端末は対話的な学びや記録の蓄積等に常時生かすようにする。</p> <p>改善策</p>
<p>国語</p>	<p>・大切なことを落とさずに話したり聞いたりすることが得意でない。 ・漢字の読みよりも書き取りが得意でない。</p> <p>○話す聞く活動や漢字の学習を習慣化する。</p>	<p>・話す聞く活動を増やし、メモの取り方を指導する。 ・漢字の小テストを毎週行い、スモールステップで無理なく身に付けられるようにする。</p>
<p>算数</p>	<p>・時間の計算が得意でない児童が多い。 ・文章問題の読み取りが不十分で、正確に回答できない児童が多い。</p> <p>○四則計算の技能を確実にしつつ、文章を正確に読み、何を問われているか理解する力を高める。</p>	<p>・単元が終わっても、生活の中で継続的に触れることで、時間の計算に慣れさせる。 ・問われていることは何かをはっきりさせ、答えの見直しができるように指導する。</p>
<p>理科</p>	<p>・植物の育ちに興味をもち、すすんで世話をしている。昆虫については得意不得意が分かれてしまうため、グループで観察や飼育体験を行った。苦手意識を軽減できたが、なくすことはできなかった。 ・風やゴムのはたらきの実験では、風の強さやゴムの引き方により、台車にはたらく力が変化することを予想した上で実証実験を行い理解を深めることができた。</p> <p>○身近な動植物に関心をもち、自然の事物・現象の違い・共通点をもとに考えられるようにする。</p>	<p>・引き続き、小グループで飼育経験を重ねることで、苦手意識を軽減していく。 ・科学実験については、原因と結果の因果関係について予想・実証実験・考察の過程を通して体験的に理解できるようにする。</p>
<p>社会</p>	<p>・資料をもとに、必要な情報を読み取る学習では、多くの児童が正確に回答できているが、どの資料を見れば良いのかわからない児童もいる。 ・四方位、八方位については、多くの児童が定着していなかった。</p> <p>○島内の仕事の学習と並行して方位についても継続的に指導する。</p>	<p>・問われていることは何か、そのことが書かれている資料はどれなのか、を順に指導する。 ・島内の工場や店が学校から見てどの方位にあるのか、共通の建物を目印にしながら一斉指導する中で無理なく身に付くようにする。</p>
<p>音楽</p>	<p>・リコーダーに対する興味関心が高い一方、正しい持ち方や運指が定着しない。</p> <p>○リコーダーの基本的な奏法を習得し、音色に気を付けて演奏できるようにすることを重点目標とする。</p>	<p>・リコーダーの授業では、持ち方を確認したり、曲に出てくる音の運指を復習したりする。 ・毎時間、常時活動の一環として、リコーダーの演奏を必ず行うことで、持ち方や運指の定着を図る。</p>
<p>図工</p>	<p>・表現することを楽しみ、積極的に活動する児童が多い。しかし、自分の作品だけに興味関心をもつ児童が多く、表現方法に偏りがある。</p> <p>○多様な作品に触れることを通して、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。</p>	<p>・導入で様々な作品に触れる機会を設定し、豊かな発想につなげていく。 ・技法や材料の生かし方などを知り、試したり互いに見合ったりする時間を十分に確保する。</p>

※ なお、各教科において、端末は対話的な学びや記録の蓄積等に常時生かすようにする。